

GLP川島着工

物流ニーズ見込む

17年4月竣工

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ(帖佐義之社長、東京都港区)は15日、埼玉県川島町で先進的物流施設「GLP川島」を着工した、と発表した。埼玉県中央部から北部は工業団地が集積しており、様々な業種の物流ニーズが見込まれるロケーションにを開発。2017年4月の竣工を目指す。

東北自動車道まで延伸した首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の川島インターチェンジに隣接し、関越自動車道や東北自動車道への接続にも至便なものに加え、国道254号も利用可能な好立地。道路を使い分けることによって、広域配送や地域内配送、都心配送へのオペレーションができる。敷地面積が2万7千平方メートル、4階建てで、延べ床面積は4万9千平方メートル。1階は土地の高低差を生かして高床と低床の両バースを設置すると同時に、製造メーカーや飲料メーカー向けに2・5トンのフォークリフトが走行可能な構造を採用。2階はEコマースやアパレルなど天井高を必要としない企業が入居する場合、後付けでメザニン(中2階)を設けることにより、更に

機能的で効率的なオペレーションが可能となる。同日実施した起工式には、設計・施工を担当するJFEシビル(台東区)の藤井善英社長も出席して

安全祈願。帖佐社長は「埼玉では既に15棟の施設を運営しているほか、本施設と『GLP狭山日高II』の開発も進めている。埼玉県下の物流施設へのニーズは底

堅いとみており、小売り、食品、アパレル、通販など幅広い業種の企業に様々な物流ソリューションの提案をしていく」と述べた。

(沢田顕嗣)